



高取城跡、城下の町並みを活かしたまちづくりに取り組む「高取むげん塾」

高取むげん塾は「高取の歴史、文化、自然を活かした心豊かなまちづくりに寄与すること」を目的として平成7年10月に発足した。同塾の主な活動は、下記のような高取城登城のルート開拓や整備、城下町の町家再生・町並み整備などである。

■高取城跡関連

大和高取城は高取山（標高583.6m）山頂に築かれた典型的な山城。中世に築かれてから、幕末まで600年余りの歴史を持つ。

1. 高取薬草探検隊、登城ハイキングの実施

高取が、「売薬の町、くすりの町」と言われていることから、高取城跡へのハイキングとからめて、古くから伝わる薬草を探し学ぶ。

2. 国見櫓跡の再発見と整備

同塾が、城跡の中で樹木に覆われていた国見櫓跡へのルートを開拓、樹木の伐採、休憩所の設置など整備を行った。国見櫓跡からの展望は大和平野はもちろん、遠く京都、六甲方面まで眺望でき「奈良のまほろば眺望スポット百選」にも選定された観光スポットとなっている。

3. 明日香方面からの登城ルートを整備

観光客が隣の明日香村の遺跡を巡った後、高取城へ誘導するため、キトラ古墳方面からの登城ルートを整備。

■城下町関連

城下町は、町家と武家屋敷群に区分され、旧高取藩の家老屋敷、数軒の武家屋敷が現存している。

町家は、大和朝廷の時代に土佐の国から移ってきた人たちが住みついた地とされる土佐町を中心に、低い軒先、虫籠窓、格子戸のある古い町並みが続く。土佐街道には古くは油屋、鋳物屋、呉服屋など500軒が軒を連ねていたといわれ、現在も昔の風情がしのばれる。

1. 町家の再生、町並み整備への提言

旧山崎邸（夢創館：高取町の観光案内所）、旧南邸（創作料理「やまと吉永」）の再生完了。行政主体の町並み整備事業への発展に寄与。

2. たかとり城まつりに参画

フリーマーケットの企画運営、「紙甲冑」作り、時代行列に参加。

■歴史的町並み・町家の連続立面図作成事業

同塾は、新しい試みとして、多くの住民の人たち（特に次世代の町を担う子供たち）に、まちづくりに対して関心をもってもらおうと「自分たちのまちに残る町家をじっくり観察して連続立面図を描く」という『歴史的町並み・町家の連続立面図作成作業』を平成19年8月からスタートさせた。

これまでに3回実施し、毎年11月23日開催の「たかとり城まつり」では完成した「町家・町並み連続立面図」を公開している。

同塾事務局長の中本勝教氏は、「残された情緒ある町並みを見直してもらうことができ、関心を持つ住民が増えてきた。今後も町並みを活かしたまちづくりに努めていきたい」と成果と意気込みを述べていた。

（上田 祥博）

町家・町並みの連続立面図の展示



高取の家老屋敷跡

高取むげん塾 代表者：白井 尚

〒635-0104 奈良県高市郡高取町上子島2-15

TEL：0744-52-4427

<http://www.mahoroba.ne.jp/~nakamoto/>

これからの催し

●高取土佐町並み「町家の雛めぐり」

期間：3月1日～31日 10時～16時

自宅に保存していた江戸時代から現在まで飾られたひな飾りを公開する。今年が目玉になりそうなのが、平安時代の貴族社会を描いた物語を手作りのひな人形や模型で再現した「虫愛づる姫君」。

土佐街道沿いの旧農協の倉庫を利用したメ

イン会場「雛の里親館」では、16段の「天段のひな」が飾られる。

平成19年から始まり、今年で4回目。昨年は約80数軒の展示だったが、今年は約90軒のお雛様を町並みのあちこちで展示をしている。

交通：近鉄吉野線壺阪山駅下車 徒歩10分

問合せ先：高取町観光案内所「夢創館」

TEL：0744-52-1150